



ロータリーは機会の扉を開く

第2423号 週報

10月14日.2020



高知東ロータリークラブ

本日 10月14日(水)12:30 ザクラウンパレス新阪急高知
ゲストスピーチ
「長期交換学生 帰国報告」
長期交換学生 上田 和恵 さん

次週 10月21日(水)12:30 ザクラウンパレス新阪急高知
会員スピーチ
「私の履歴書」
五百蔵誠一 会員

第2469回 例会報告／令和2年9月30日 天候 雨

◇ロータリーソング

「奉仕の理想」

◇会長 挨拶



皆さん、こんにちは。先ほど、11時半から第2回IM実行委員会を開催しました。当クラブが主管するIMは2月27日に開催されますが、いよいよ準備が本格的にスタートしました。会員の皆さんにもいろいろお手伝いをお願いすることがあります。その際にはよろしく願います。

今日は、私の悩みどころをお話して、皆さんの教を乞いたいと思います。

まず一つ、話は10年前に遡ります。IMの実行委員長をさせていただいたとき、IMのことについていろいろ疑問が生じました。それまでの歴史の中でIMの表記がまちまちだったので、何が正しいか、どうすればいいか、統一したいと考え、過去の資料やインターネットで調べて、いろんな方に話を聞くなどしましたが、結局明確な答えは見つかりませんでした。ただ、いろんな方の話の中で、言葉を省略したときはドットを打つことに意味がある。そして見た目も考慮して、I.M.と表示を固定して印刷物等作成したと記憶しています。ただ、今はWHOやASEANなど英語の頭文字を集めた表記では、ドットをどれも打ってないことからすると、IMというアル

ファベットのみの表記も間違いではないんじゃないかと思って、また分からなくなっています。去年辺りまではIMとなっているようですが、実行委員会の方でもう一度検討していただいて、正しい形を作っていただけたらと思います。

二つ目の問題です。ロータリアンを互いに呼び合うときは「おい」とか「やあ」と言いましょと歌にあります。式典などの場面では「様」ではなく「さん」と呼ぶべきだというアドバイスをいただいたことを覚えています。これもIMのとき、司会の松本さんが敬称は「さん」を使いますと伝えて進めた記憶があります。それ以降、いろいろなロータリーの集まりで「様」を使って紹介されることを見かけます。もちろん「様」と表現して間違いではありませんが、私は違和感を覚えます。皆さんは、どのように思われるでしょうか。

三つ目。ロータリーの四国の地区名は2670地区区というのはご承知のことと思います。柳澤さんがガバナーをされるにあたって、ニーロクナナマル地区という表現は正しくないというアドバイスをいただきました。以降、私の中では、ニーロクナナマル地区と表現されると、これも間違いではないけれども少しずつ修正するように、自分から動いていかないといけないと思っています。皆さんはどのように表現されるでしょうか。

四つ目です。最近のことですが、ロータ

リーにおける「ポリオ撲滅」が「ポリオ根絶」と表現されています。撲滅も根絶も、疾病を完全に滅ぼす際に使って間違いないです。ではなぜ、撲滅を根絶に変えたのか、その理由をご存知の方は教えていただきたいと思います。ただ、私の直感では「撲」は暴力的な部分が表現されています。西森幹事が調べたところ、英語表記では文言は変わっていませんので、日本だけのことではないかと思えます。「撲」の意味合いがロータリーの活動として相応しくないから、変えたのかなと私は思いましたが、実際はどうなのでしょう。

(ロータリーの友2019VOL.67 NO.7 56頁参照)

このように、ロータリーは何たるかという根本的な部分を深い話ではなく、一つのキーワードに注目して思いを巡らすことは、意外ととっつきやすいように思います。また、情報の拾い集めや思考過程で、何かしらロータリーへの理解が深まることもあるのではないのでしょうか。

先々週の情報集会で、皆さんに親睦について語り合ってくださいました。また違ったキーワードについて語り合おうと意識していただければ、幸いに思います。

本日の卓話はあさひの風法律事務所の弁護士・中島香織さんによる「厳しい環境を生きる子どもたちへのサポート」と題したお話を伺います。

◇会長報告

・名札の後ろの金具が相当の数、ガタガタになっていました。新しいバージョンに代えているクラブもあるようですので、当クラブも検討していたところ、森田会員のところで完璧な形で仕上げてくださいました。感謝を申し上げます。ありがとうございます。

◇幹事報告

- ・本日例会終了後、臨時理事会を行います。その後、役員会を行います。
- ・来週は、創立記念夜間例会でガバナー公式訪問も兼ねています。ネクタイ着用をお願いします。

◇ゲストスピーチ

あさひの風法律事務所 弁護士 中島 香織 氏

「厳しい環境を生きる子どもたちへのサポート」



厚生労働省発表の日本全体の総体的な貧困率のうち17歳以下の子どもの居る世帯の貧困率は、2017年が一番悪くて16.3%、6人に1人の子どもが貧困の中で生きています。2018年、少しずつ改善されて13.5%。このうち、一人親世帯の貧困率は先進国の中で日本は最悪で、2012年58.7%、2018年少し改善されて48.1%。ただ、これは有効的な施策が打てたのではなく、国民全体の所得が少し向上したので、貧困率が下がったという分析です。これが新型コロナの影響で、より深刻になり、シングルマザーズフォーラムが1,800人の一人親家庭を対象に調査したところ半数以上の家庭で失業、減収がある。子どもが臨時休校

になって仕事を休まなければならなかった。休んでいたら首になったというように収入や雇用に影響した方が70%。親への影響はダイレクトに子どもに影響しますから、これから深刻さがますます明らかになってくるのではないかと思います。

高知県の状況です。平成28年から29年にかけての調査で、高知県の生活保護世帯、児童養護施設に入っている子ども、一人親家庭の子どもたちの割合は12.4%、全国平均より高い。一人親世帯の年間就労収入300万円未満の家庭は母子で78.9%、父子で52.6%。19歳以下人口における被措置児童割合、児童養護施設、親と何らかの事情で暮らせなくて施設

に入っている。あるいは里親さんの家庭で過ごしている子どもたちの割合は0.35%、これは全国で最も高い数字です。小中学校における就学援助率、修学旅行や給食費などを自治体に援助してもらう割合は25.37%、全国平均は15.42%。加えて、高知県子どもの生活実態調査では、低所得の割合や子どもにとっての生活必需品、成長に合わせた本、洗濯機、冷暖房機、お風呂、インターネットに接続できるパソコン、これらのどれかが無いのは29.6%、ライフライン、給食費や光熱費を払えなかったことがある、支払い困難経験の状況14.2%。いずれかに該当する世帯は33.6%。また、経済的に苦しい、大変苦しいと答えた世帯は3~4割と報告されています。

さらに、日本財団が行った都道府県別推計レポートによると、高知県の貧困状態にある子どもの割合は19.5%、5人に1人。高校中退率は生活保護世帯で7.4%、一人親世帯で5.4%、大阪、沖縄に次いで3位、全国平均は1.4%。高校を中退すると職業選択の幅はぐっと縮まり、貧困に結びつくことは、想像にたやすいと思います。

このように大変な県の状況の中で、自分たちができること、手が届くところからやってみようと始めたのが「みんなのひろっば」という子どもの居場所づくりで、子どもたちのための安全で心安らげる居場所を子どもと一緒につくることを目的にしています。

活動内容としては、オーダーメイド支援と定期開所の2種類。オーダーメイド支援では、子どものニーズに合わせて支援チームをつくり、例えば、高卒認定試験を受けたいので勉強がしたい。不登校で学校に行くのは難しいけれど、ひろっばだったらちょっといける。そんな子どもさんのニーズに合わせて支援調整を行っています。プラス定期開所ということで、毎週土曜日に一緒にご飯を食べたり、遊んだり、本を読んだり、コロナの前は15時から18時、コロナの後は12時から14時まで行っています。みんなといて落ち着く子どももいれば、みんなといるとちょっとしんどい、一人で静かにしたい、何もしたくない、話もしたくないという子どももいて、それぞれの子に合わせるができるようにしています。最初、ご飯は食べていなかったのです

が、朝から何も食べていないとか、小学生で弟や妹の食事を作らなければいけないけど作りたくないとか、じゃあ、土曜日だけでもご飯を一緒に食べようということとしました。

新型コロナの影響でとても大きく打撃を受けています。ひろっばは2月29日から5月31日まで開所できませんでした。子どもたちへのささやかな支援も感染リスクの懸念から行えないし、スタッフの安全まで考えると、とても開所はできないという判断でした。すると、週に1回だけでも会えていた子どもたちの様子も分からない。人間に会うのが恐ろしい時代になってしまったということを実感しました。

私たちは子どもたちに、一人ぼっちじゃないよ、ここに居ていいよということを伝えたい。それを会うこと、話すこと、一緒にご飯を食べることでやってきたけど、それが安全じゃないとなると、どうしたらいいか分からない状況でした。その中で、何もしないではいられないのでお弁当を届けることにしました。食堂や高齢者への配食サービスをしているアテラーノ旭さんにご無理を言って、手紙と一緒に弁当を届けました。子どもたちの住む家の玄関には、本当に大変な生活をしていることがにじみ出ていました。ひろっばに来てるときは悪態をついたり、ご飯に文句を言ったりする子どもたちが「ありがとうございます。次ひろっばはいつ開きますか」と言ってくれる。手紙もちゃんと受け取ってくれて、子どもたちはとてもとても嬉しそうでした。私たちが心配してる、ひとりぼっちじゃないよということが、子どもたちに届いたなと実感できる。また、スタッフにとっても、子どもたちが過酷な環境で生活していることがよく分かる体験でした。

今日、私はこの会場に来たとき、前の旗が目に入りました。「ロータリーは機会の扉を開く」と書いてあるのを見て、とても素晴らしいテーマだと思いました。私がこのひろっばの活動をしていてすごく思うのは、子どもたちはスタート地点から与えられる機会やチャンスが全く違ってきます。その中で、少しでも自分たちができることで、体験の機会を提供していきたいと思ってやってきました。どんな家庭でどんな状況で生まれていて

も、同じように自分の足で立てる大人になっていってほしい。そのときには、信頼できる人との関係性や学びの機会、そこで褒めてもらえることもとても大事になってくると思います。

今、子どもの居場所づくりは再開しましたが、感染の不安はなくなりません。ひろっばは基本的にあれしろ、これしろと言わない、子どもたちが自発的にやりたいということが出てくるまで待つことを目指してきたけど、今はマスクしなさい、手を洗いなさいと口うるさくいわなくてはいけない。それもスタッフのストレスになっているといった難しさがあります。

子どもたちに体験の扉を開きたいと思って

もなかなかできない。でも、コロナがいつ終息するか分からないから、できないよねということで終わらせていたら、彼らの貴重な毎日が失われていくわけで、どこかで勇気を持って踏み出さなければいけないと思っているものの、というところで非常に悩みの中にあるということです。

ただ、今までの活動の中で、子どもたちは、ちゃんと認めてもらって褒めてもらったから成長できるということを教えてくれましたので、それを大事に、新しい子どもたちの居場所づくりを考えていきたいと思っています。皆さまにも、関心を持って応援していただけたら、とても嬉しいです。本日はどうもありがとうございました。

◇出席率報告

	総数	出席	欠席	マイク アップ	HC出席率	出席率
9月30日	⁻⁴ 53	41	5	3	83.67%	89.80%
9月16日	ロータリー休日					
9月9日	⁻⁶ 53	37	0	10	69.81%	100%

ニッニッ 窪

・西森やよい 中島香織先生、本日の卓話ありがとうございました。会員の皆さまにご報告があります。おむつバンク事業に際して、家庭で余ったおむつを困窮家庭に配るというアイデアを思いついた際、「おむつバンク」

という名前をつけてくれたのは香織先生です。これからのますますのご活躍を祈念しております。

・西村美香 中島先生、今日はお忙しい中、ご講演ありがとうございました。子どもを持つ1人の母親として、過酷な環境におかれた子どもたちの状況を知って涙が出ました。私も微力ながら、みんなのひろっばに入会し、サポートさせていただきたいと思います。

・ザクラウンパレス新阪急高知 いつもお世話になり、ありがとうございます。

◇遅刻・早退 2件



奥入瀬溪流

子ノ口から焼山まで14km程流れ落ちる溪流に沿って降りて行くが、所々に車を止め透き通ったようなきれいな溪流と滝を眺めた。銚子の滝は大きく人を集めていた。ここは車よりハイキングを楽しむ人が多い。



奥入瀬 銚子の滝



奥入瀬

八甲田山

青森を目指して八甲田山に入った。上って行くとブナの木が多く、紅葉が広がってくる。途中、蔦温泉を通るが大町桂月は晩年ここで暮らした。峠を越して以前、泊まったことがある八甲田山ホテル周辺に来ると辺り一面紅葉だった。人も群がるように多かった。下に下ってロープウェイにも乗るが眼下に見下ろす紅葉は大きく広がりをはるか彼方に岩木山、海側に青森市が眺められる。東北に入って初めて素晴らしい紅葉を堪能した。



八甲田山



八甲田山

青森市

駅前にあるリッチモンドホテル青森に入った。青森市は2回目であるが、青森駅、青森港を中心として道路が広がり、商店街、官庁、会社が分かりやすく整備されている。リンゴが名産で色々なお菓子や飲み物が作られている。魚も豊富で魚市場にも入ったが、人が多く活気ある所であった。

前は青森の人は早口で言葉が分からない、物言わぬ静かな人ばかりで寂しい所だったが、新幹線が通り人も増えて明るい街になったと感じた。

夜はホテルの推薦で一八すし店に入った。清潔なお店で北寄貝、ホタテ貝を食べたが、マグロは大間産ではなかった。

4日目は新青森駅でレンタカーを返却し、新幹線で東京に戻り、空路帰高した。



ロープウェイから眺めた八甲田山

■高知東RC当面の日程

10月28日(水) 役員会
 11月4日(水) 定例理事会
 11月11日(水) ロータリー休日
 11月18日(水) 第4回クラブ協議会
 (例会終了後)
 11月25日(水) 役員会
 12月2日(水) 五大奉仕中間発表・年次総会
 定例理事会
 12月16日(水) 役員会(例会前)
 12月23日(水) 忘年夜間例会(ラ・ヴィータ)
 12月30日(水) 休会(年末年始)

■例会変更のお知らせ

高知南RC 10月15日(木) ロータリー休日
 高知中央RC 10月15日(木) 夜間例会
 高知RC 10月27日(火) 創立記念夜間例会
 高知ロイヤルRC
 10月27日(火) ロータリー休日
 高知北RC 11月2日(月) ロータリー休日
 高知中央RC 11月5日(木) 休会
 高知南RC 11月12日(木) ロータリー休日
 高知西RC 11月13日(金) ロータリー休日
 高知ロイヤルRC
 11月17日(火) ロータリー休日
 高知中央RC 11月19日(木) 職場例会

他クラブ変更事項

●道後ロータリークラブ 例会変更

- 例会日時：毎月第2・第4木曜日 12時30分 点鐘
 毎月第3木曜日 18時30分 点鐘
 ※第1・第5週目は休会となります。
- 例会場：道後山の手ホテル 〒790-0836 愛媛県松山市道後鷺谷町1-13
 TEL：089-998-2111

●徳島南ロータリークラブ 例会場変更

- 例会場：JRホテルクレメント徳島
- 所在地：〒770-0831 徳島県徳島市寺島本町西1丁目61番地
 TEL：088-656-3333
 FAX：088-656-3338
- 例会日：毎週金曜日 12時30分 点鐘 変更なし

● ニコニコ箱 ●

	ニコニコ	チビニコ	合計
先週まで	391,611円	6,388円	397,999円
9月30日	3,250円	0円	3,250円
今期の累計	394,861円	6,388円	401,249円

- 会長／竹村克彦 ●幹事／西森やよい ●雑誌会報委員／小比賀和弘・関 淑公・永野正将
- 例会日／毎週水曜日12:30PM~1:30PM ●例会場／ザクラウンパレス新阪急高知 (088)873-1111
- 事務所／高知新聞放送会館6階 〒780-8572 高知市本町3-2-15 直通 (088)824-8660
 ホームページアドレス(PC・携帯共通) <http://www.kochi-east-rc.com>
 メールアドレス 事務局/hcrr@coffee.ocn.ne.jp 広報IT委員会/info@kochi-east-rc.com